

## 紹介

## 「あの地獄より帰還」

—米寿の獣医師が歩んだ軌跡—

酒井仙吉（東京大学農学生命科学研究科教授）

5月19日、新潟県獣医師会総会が開かれた。控え室で「稲と牛から思う日本の食料と未来」を講演するため準備していると、老紳士がニコニコしながら近づいてきた。小熊先生であった。50年ぶりの再開である。米寿を迎えられてなお現役、二度ビックリである。5月15日に出版された「あの地獄より帰還」を送るといわれ、数日して手元に届けられた。以下は率直な読後感である。

当時の青年であった著者も出征により大陸に送られた。いつ敵の鉄砲玉が飛んでくるかわからない場所での生活が始まったのだが、意外にも敵との対決よりも食料不足、それに風土病による病人の続出であった。自身も回帰熱となり、腹の皮が背中につくほど痩せてしまう。戦場で倒れるのであれば名目も立つが、栄養不足では無念であったらうと思う。獣医師として解決策を模索する姿に感動を感じるが、それが戦地である。看病むなしく戦友を失うことも多かった。無念さは人一倍強かったのであろう、戦争への怒りが文中ににじむ。

馬も出征した。大陸に渡った40万頭の軍馬は、二度と祖国の土を踏むことはなかった。重労働に従事し、戦場にたち、そして死んでいった馬への思いやりが痛いほど伝わる。資材不足で、手当てしてやれないことが多かったのである。

帰国後は体験を生かして地元の家畜の健康を守る努力をされた。何といっても素晴らしいことは、獣医師として真面目に獣医事にあたる姿勢である。そこまでやるとは想像していなかったからであるが、立派というほかない。鯉を例にしよう、なお魚病学を修めた獣医師の誕生は最近である。

農村では鯉を食用として、錦鯉を観賞用として飼う。ところで錦鯉で予期しなかった事が続いた。突然死である。肥満が原因であるが、鯉の習性と生活環境から原因を明らかにされ、解決策を見つけられた。そのため大枚を払って組織切片を作る機械を揃えられた。著書の中にある病理切片の原色写真を見ると、素人にも原因がハッキリわかる。一步一步真実にせまる姿は正に科学者の姿勢であり、情熱に頭が下がる。講習会で技術を習得、獣医学会で成果発表、国際獣医学会で学識を深められるなど、「田舎の獣医師さん」の範疇を越えていることは明らかである。

新鮮な驚きをもって読み終えた。すべてが初めて知ることであった。このような獣医師がいることを伝えたく筆をとった次第である。一読されることを勧める。

著者：小熊俊壽

定価：1,800円（税込）

版型：A5版 311頁

発行所：新日本教育図書株

東京都新宿区市ヶ谷左内町11左内坂  
ハイム203

☎03-3267-7408

## 行事案内

# 野生動物救護獣医師協会(WRV)講習会及びシンポジウム

日時：平成21年9月27日(日) 10:00～17:00

会場：アミュー立川第1会議室  
立川市錦町3-3-20

内容：

- WRV鳥の骨折治療講習会(10:00～12:00)
  - 「小鳥の骨折」 中津 賞 (WRV大阪支部支部長)
  - 「中～大型鳥の骨折」  
齋藤慶輔 (猛禽類医学研究所代表)
- 傷病野生動物救護の現状と今後の課題  
シンポジウム(13:00～17:00)
  - 「救護の問題点」 石橋 徹 (WRV理事)
  - 「傷病野生動物救護の流れ」  
野村 亮 (NPO自然環境アカデミー)
  - 「小動物臨床の中での救護活動」  
中津 賞 (WRV大阪支部支部長)

④「リハビリテーターの養成と活用」

皆川康雄 (WRV副会長)

⑤「傷病野生動物の予防対策」

齋藤慶輔 (猛禽類医学研究所代表)

⑥「現状と今後の課題」 須田沖夫 (WRV理事)

参加申込み：講習会とシンポジウム(懇親会費有)  
は、それぞれに参加費を要し、郵便振  
込にて参加費を納入し、その確認をも  
って申込受付とする。

問合せ先：特定非営利法人 野生動物救護獣医師協  
会(担当 梶山, 吉見, 須田)

☎042-599-5052(専用)

E-mail: kyugo@wrvj.org

## 訃報

◎構成獣医師

松田 晃氏(石川県白山市宮保町1213) 平成21年3  
月11日老衰のため逝去, 享年87歳.

井上凱之氏(千葉県銚子市長塚町5h1380h2) 平成20  
年11月6日逝去, 享年67歳.

渡邊耀一氏(新潟県長岡市土合5h10h4) 平成21年3  
月20日喉頭癌のため逝去, 享年79歳.

澤田 啓氏(開業 青森県三戸郡三戸町字斗内字清水田  
118h2) 平成21年3月16日心筋梗塞のため逝去, 享年  
80歳.

寺本 賢氏(福井県坂井市丸岡町上田1h9) 平成21年  
3月21日病気のため逝去, 享年83歳.

大久保秀人氏(埼玉県飯能市柳町8h5) 平成21年3月  
16日逝去, 享年71歳.

(平成21年3月18日から平成21年3月26日の間  
に所属地方獣医師会から報告のあった訃報を掲載し  
ました. ご冥福をお祈り申し上げます.)

## 事務局日誌

7月10日：全国獣医師会事務担当者会議

7月17日：獣医事審議会計画部会第2回小動物分野,  
民間・研究分野ワーキンググループに山根  
会長出席

7月22日：全国食肉衛生検査所協議会第45回記念大会  
に山根会長出席

：獣医学教育の改善・充実に関する調査研究  
協力者会議(第6回)に山根会長出席

7月24日：東京都畜技連幹事会に大森専務理事出席

：産業動物獣医師確保に係る懇談会に山根会  
長, 北村顧問, 大森専務理事出席

7月28日：第4回三役会議

：獣医事事情関係者懇談会

：獣医師賠償責任保険中央審議会

7月31日：映画「HACHI」ロイヤルショーに山根会長,  
大森専務理事出席